



「ひょうごの木」の“新しい使い方（価値）”を発見しよう！ 森林と企業がつながる県産木材活用セミナー

兵庫県では、今年度から「ひょうごの木」のブランド化を図るため、林業・木材産業者とアーティストや酒蔵などの異分野の方が「ひょうごの木」の“新しい使い方（価値）”についてともに考える場「ひょうごの木」Creation Baseを開催しています。今回は、この活動について紹介するとともに、基調講演では、(株)ソマノベースの奥川氏から自社で取り組む企業と森をつなげる仕組み「戻り苗」の事例をご紹介します。その後のディスカッションでは、奥川氏と「ひょうごの木」Creation Baseメンバーとで、兵庫県における木材利用の今後の方向性について話し合います。

ぜひ、皆様もご参加いただき、森林と企業がつながる大切さを感じ、新たなつながり方を発見しませんか？

【日時】 令和6年11月18日(月) 13:15~16:30 ※受付 12:45~

【会場】 神戸市教育会館 大ホール (兵庫県神戸市中央区中山手通4丁目10-5)


【対象者】 ・県産木材・木製品を取り扱いたい事業者(農林漁業者、百貨店、小売業者、飲食店、食品加工業者、銀行、ホテル、メーカー 等)
・県産木材生産者、木製品製造事業者、林業(支援)関係団体 など...

【主催】 兵庫県

参加費
無料

プログラム

I 講演 「MODORINAE (戻り苗) を中心とした取組の紹介」

講師：株式会社ソマノベース ^{おくがわ} 奥川 ^{ときか} 季花 氏 

地元、紀伊半島での被災をきっかけに、2021年「土砂災害による人的被害をゼロにする」をビジョンに掲げ、27歳にして「株式会社ソマノベース」を設立。コンセプトに共感した顧客が苗を育て、その大きくなった苗を同社が引き取り植林する「MODORINAE (戻り苗)」という仕組みで、林野庁のコンテスト『WOOD CHANGE AWARD』でブロンズ賞を獲得。多様な事業者と連携して、森林保全につながる様々な取組を行う。



II 「ひょうごの木」 Creation Baseの紹介

兵庫県林務課が行う、県産木材の“新たな使い方（価値）”やブランディングを創出する取組を紹介。

III パネルディスカッション

テーマ「森と企業がつながるために必要なこと」

【ファシリテーター】 兵庫県 広報プロデューサー 有田 佳浩 氏

【パネリスト】

株式会社ソマノベース 代表取締役社長 奥川 季花 氏



株式会社西山酒造場
女将 西山 桃子 氏
蔵人 濱木 大輔 氏

西山酒造場6代目蔵主との結婚を機に丹波市へ移住。現在は女将として、人財育成や広報、地元丹波への観光促進事業などに取り組む。

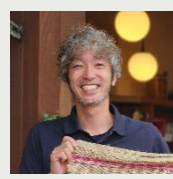


2019年に入社後、清酒製造と兼任して、丹波のポタニカルを使ったクラフトジンの商品開発を行う。現在は蒸留酒全般の開発、製造を担当。



有限会社ウッズ
代表取締役 能口 秀一 氏

2004年、兵庫県丹波市に有限会社ウッズを共同設立。地域産木材にこだわった小規模製材所を運営。2014年より「森を育む製材所」として林業に参入。製材情報を森林管理にフィードバックする森林資源利用法により、森林所有者への還元率の高い木材流通の普及に取り組む。



萩原珈琲株式会社
代表取締役 萩原 英治 氏

4代目代表。生物資源学専攻の後、18ヶ月中南米で過ごす。自然の仕組みを組織に置き換えたチーム作りを実践。焙煎の熱源を国産炭への切り替え、常緑樹の消費促進や森の再生を目指す。



神鍋白炭工房株式会社
工房長 田沼 光詞 氏

3代目代表取締役社長。但馬に活動拠点を置き、炭焼き、薪ストーブ施工、薪の販売、素材生産、森林整備から危険木などの特殊伐採まで幅広く行う。



申込方法

右記の二次元コードから回答 又は 別紙申込書をメール送信
申込期限：11月11日(月) 17時まで

【事務局】 「農」イノベーションひょうご推進協議会 (兵庫県総合農政課内) 担当：石橋
【問合先】 TEL：078-362-9216 E-mail：sougounousei@pref.hyogo.lg.jp
FAX：078-362-4458

